

令和7年度

学校説明会



式次第

	司会：教頭	阿部紫乃
1. 学校長挨拶	学校長	工藤真嗣
2. 教育課程について	教務	高橋直也
3. 進路について	進路	山内一憲
4. 本校の生徒支援について		
	生徒支援部長	駒込幸則

札幌市立伏見中学校

〒064-0916 札幌市中央区南16条西17丁目1番35号

電話 011-561-0218

令和7年度 伏見中学校 教育活動全体計画（グランドデザイン）

教育法規等に基づく公教育

- ・憲法、教育基本法、教育関係法規
- ・学習指導要領 等

札幌市学校教育の重点

「人間尊重の教育」を基盤

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

- 知・徳・体の調和のとれた育ち
- 「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」

- 社会に開かれた教育課程

「小中一貫した教育」

全ての教育活動を貫く重点
子どもの声を聴く

伏見中学校・教育目標

- ・豊かな心を育む
- ・自ら学び考える力を高める
- ・自律の心と健やかな身体をつくる

生徒、保護者、教職員の願い

目指す教師像(札幌市)

- ・使命感・倫理観、教育的愛情
- ・専門性向上に主体的に取り組む
- ・協働して課題解決に取り組む

伏見中学校・生徒のめあて

「学び合い活気ある生徒」

- ・心を深めよう
- ・自ら学び考える力をつけよう
- ・たくましい身体をつくらう

学校経営の基本方針

- ◆子どもの立場に立つ
- ◆信頼関係の構築を図る
- ◆学びが実感できる楽しい授業を展開する
- ◆自己有用感を育む

スローガン：

「すべての人が幸せになれる、安全で安心して過ごせる学校」（安心・安全）

学校評価アンケートより(設問変更)

ポイントが高い項目

- ・情報モラルと適切な利用 (96%)
- ・成績の付け方の十分な説明 (91%)
- ・自己有用感と他者尊重 (89.0%)
- ・わかりやすい授業 (88%)
- ・先生が悩み等に関わってくれる (87%)

ポイントが低い項目

- ・「見通し」をもった計画的学習 (50%)
- ・「ゆとり」のある日常生活 (63%)

〈 今年度の重点 〉

- ★ 発達支持的生徒指導の充実
- ★ 「見通し」と「振り返り」を大切にした課題探究的な学習の充実
- ★ 生徒の声を生かした自主性や主体性を育む生徒会活動

札幌市共通指標 生徒アンケートより

ポイントが高い項目

- ・人の役に立ててうれしい (93.6%)
- ・人の役に立つ人になりたい (93.3%)
- ・学ぶ場所は安全が守られている (93.3%)
- ・人のよいところを見つける (91.8%)

ポイントが低い項目

- ・計画を立てて勉強している (50.0%)
- ・自分の意見を進んで発言する (58.8%)
- ・自分が必要とされている (64.4%)

1. 豊かな人間性の育成

- (1) 豊かな人間性を育成する教育活動
 - ・安心して過ごせる学校・学級
 - ・相互承認の態度を育成
- (2) 安全・安心を目指す生徒支援
 - ・発達支持的生徒指導～挨拶・声かけ・励まし・賞賛・対話～★
 - ・いじめ防止、命の大切さ
 - ・情報モラル教育の充実

2. 確かな学力のはぐくみ

- (1) 確かな学力の定着
 - ・見通しと振り返りを大切に★
 - ・主体的な学習姿勢を育む評価
- (2) 自律的な学習者を育む取組
 - ・フォーサイトの活用
 - ・ICTの活用・キャリア教育の充実

3. 健やかな心身の育成

- (1) 身体の健康保持を図る態度
 - ・保健指導、食育指導の充実
 - ・保健体育以外の運動機会の充実
- (2) 教育相談機能の充実
 - ・不登校生徒への温かな配慮
 - ・シャボテンの活用

4. 特別支援教育の充実

- (1) 個に応じた指導の充実
 - ・合理的配慮・きめ細かな指導
- (2) インクルーシブ教育の推進
 - ・交流・共同学習
 - ・通常学級と特別支援学級教員のTTによる授業実践

「学ぶ力」育成プログラム

- ◇学習に見通しをもつイントロダクションと自信・達成感を実感するリフレクションの設定
- ◇フォーサイトを活用した見通しと振り返りを大切にした学習習慣の定着
- ◇知識の習得と知識を使いこなす力の育み
- ◇自分の言葉で表現、他者と協働して課題解決
- ◇小中一貫した教育活動（自治的な活動等）

「健やかな体」育成プログラム

- ・保健体育の授業における成就感・満足感、運動習慣の育成、自己課題の明確化と学習成果の把握による意欲喚起、ICTの活用等
- ・授業以外で体を動かす時間の確保、行事による運動機会の創出と練習時間の確保、体育委員会の活動、感染症対策、性・命の学習等

6. 伏見らしい特色ある教育活動

- (1) 創造性を発揮させる学校行事
 - ・伏見らしい学校行事の企画・推進
- (2) 創造的な自治的活動の充実
 - ・生徒の声を生かした生徒会活動★

5. 信頼される学校づくり

- (1) 学校組織の活性化と経営参画意識の高揚
 - ・「チーム伏見」として同僚性の発揮
 - ・研修の充実・奨励
- (2) 信頼される学校づくり
 - ・説明責任と情報発信、学校評価・CSに向けた準備・小中一貫した教育
- (3) 安全で安心な学校管理
 - ・危機管理と事故防止
 - ・「働き方」の見直し・教育環境整備と防災教育

	学級数		生徒数	
	通常	特別支援	通常	特別支援
1学年	5	知2 情1	164	3
2学年	5		170	6
3学年	5		186	4
計	15	3	520	13

校長	1
教頭	1
主幹教諭	1
教諭	28
時間講師	1
養護教諭	1
事務職員	1
用務員	1
校務助手	1
学校司書	1
SC	1
ALT	1

全校生徒数 533名

教育課程

【学年別週時数】(「札幌市中学校教育課程編成の手引き」を基に作成)

	1年	国	社	数	理	音	美	体	技	英	道徳	特活	総合
週時数	15週A	4	3	4	3	1	1	3	2	4	1	1	1
	20週B	4	3	4	3	1.5	1.5	3	2	4	1	1	1
標準時数	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	

※B時間割20週において音楽と美術は週1コマ+隔週1コマで実施する

	2年	国	社	数	理	音	美	体	技	英	道徳	特活	総合
週時数	15週A	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2
	20週B	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2
標準時数	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	

	3年	国	社	数	理	音	美	体	技	英	道徳	特活	総合
週時数	15週A	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2
	20週B	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2
標準時数	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	

<評定期と定期テスト>

令和7年度より全教科2期制となります ※12ページからの資料をご覧ください

- ・前期は4月～9月、後期は10月～3月としますが、各教科において9月中の内容的に区切りの良い単元までを前期の評価対象とし、評定を算出します。
- ・学年末に通知表でお示しする評価・評定は、年間を通じての評価・評定となります。
- ・定期テストは5教科(国・社・数・理・英)のみ実施します。
- ・評価・評定は、定期テストだけでなく、日常的な取組や小テスト、実技テストや成果物など、年間を通じてバランスよく資料を収集し、それらをもとに行います。

<定期テスト実施時期>

前期テスト	3年生	7月中旬(1学期期末懇談後)
	1・2年生	8月下旬(2学期始業式の翌日)
後期テスト	3年生	12月中旬(2学期期末懇談後)
	1・2年生	2月中旬(私立入試の日)

<通知表の配布時期>

前期（10月中旬）	教科の前期評価・評定、前期の係・委員会等、出欠を記載
学年末 （3学期修了式※3年生は卒業式）	教科の学年末の評価・評定と道徳・総合の時間の評価、 後期の係・委員会等、出欠を記載

※令和6年度まで学年末の通知表に記載していた担任による所見を、今年度より記載しないことと致します。子ども達の取組や成長の様子については、期末懇談（三者懇談）や学級・学年懇談会などを通して、適宜、保護者の皆様に伝えて参ります。

【日課表】

	6時間授業	5時間授業	4時間授業
登校時刻 (シャボテン入力)	8:10 ~ 8:25	8:10 ~ 8:25	8:10 ~ 8:25
朝読書	登校後 ~ 8:30	登校後 ~ 8:30	登校後 ~ 8:30
朝の学活	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40
1時間目	8:45 ~ 9:35	8:45 ~ 9:35	8:45 ~ 9:35
2時間目	9:45 ~ 10:35	9:45 ~ 10:35	9:45 ~ 10:35
3時間目	10:45 ~ 11:35	10:45 ~ 11:35	10:45 ~ 11:35
4時間目	11:45 ~ 12:35	11:45 ~ 12:35	11:45 ~ 12:35
昼食 (準備含む)	12:35 ~ (12:45) (12:45) ~ 13:10	12:35 ~ (12:45) (12:45) ~ 13:10	12:35 ~ (12:45) (12:45) ~ 13:10
昼休み	13:10 ~ 13:25	13:10 ~ 13:25	—
5時間目	13:30 ~ 14:20	13:30 ~ 14:20	—
6時間目	14:30 ~ 15:20		—
帰りの学活	15:25 ~ 15:35	14:25 ~ 14:35	13:15 ~ 13:25
清掃	15:35 ~ 15:50	14:35 ~ 14:50	13:25 ~ 13:40
生徒下校	~ 15:55	~ 14:55	~ 13:45
最終下校	~ 16:30	~ 16:30	

年間行事・テスト予定

(1) 旅行的行事

3年生 修学旅行(東北方面2泊3日)

6/8(日)~6/10(火) 6/11(水)臨時休業日

2年生 宿泊学習(長沼町・富良野方面)

5/21(水)~5/22(木) 5/23(金)臨時休業日

1年生 校外学習(円山動物園)

5/29(木)

8組 校外学習(農業体験)梨狩り

10/21(火)

(2) 学校祭… 9/19(金)

(3) 合唱発表会… 10/29(水) 本校体育館

(4) 陸上競技記録会(円山陸上競技場)…6/24(火)

(5) 体育大会(1、2、3年)…1年、2年 12月、3年 3月に開催予定

(6) スキー学習

〈3学期〉1・2年生、1・2年8組 1月中旬から2月上旬まで 2回 札幌国際スキー場(予定)
(バス代、保険代は学校徴収金から、リフト代は、後日徴収)

(7) 学校公開日…6/2(月)9:00~12:35
12/1(月)9:00~12:35

(8) 授業公開日…4/16(水)、5/2(金)、11/5(水)

(9) 学級・学年懇談会…4/16(水)、5/2(金)、11/5(水)、3/16(月)

(10) 学期末懇談 3者懇談

◎〈1学期〉 7/ 9(水)~15(火) 合計5日間 14:00~16:30

◎〈2学期〉 12/10(水)~16(火) 合計5日間 14:00~16:30

(11) テスト実施期日

① 定期テスト(5教科)

3年前期テスト:7月17日(木)

3年後期テスト:12月18日(木)

1・2年前期テスト:8月26日(火)

1・2年後期テスト: 2月13日(金)

② 学力テスト実施日

3年のみ ①総合A 9/10(水) ②総合B 10/8(水) ③総合C 11/6(木)

行事

伏見中学校は、行事に向けた生徒の活動を大切にしています。

<1年生> 校外学習(円山動物園)



<2年生> 宿泊学習



<3年生> 修学旅行



「陸上競技記録会」円山陸上競技場



「認証式」



「学校祭」



「合唱発表会」学級合唱

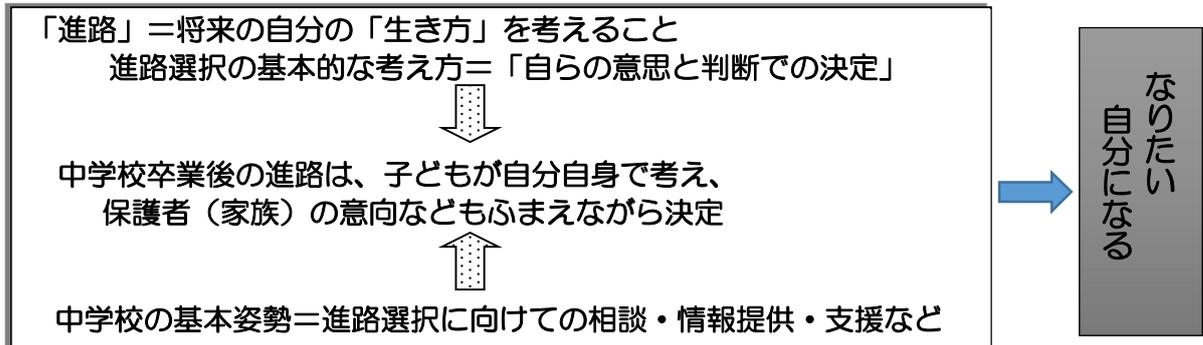


「1・2年 スキー学習」



中学校卒業後の進路選択に向けて

進路に対する基本的な考え方



1 「進路」とは…将来の自分の「生き方」「人としての進む路」を考えること

「進路を考える」ことは、将来の「生き方」を考えることだと言われています。つまり、人としての生き方やあり方を考えることを通し、社会的自立・職業的自立に向けての意欲・態度・能力等を身に付けることが大切だということです。これがいわゆる「キャリア教育」の基本的な考え方です。とかく、「進路の選択」というと、中学校卒業後の進路先（進学先や就職先）を選択・決定することだと思いがちですが、それが目標ではありません。どこの上級学校に進学するかも大切ですが、将来、自分の生き方とどうつながっていくのかということも含めて考えることが大切です。そのためにも自分自身をよく見つめ、具体的な目的意識をもって進路の計画・選択をすることが必要となります。

2 進路選択の基本的な考え方…「自分自身で決めるもの」

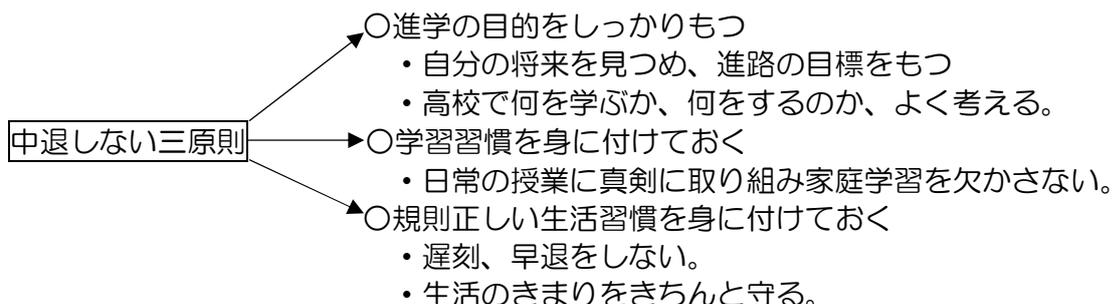
中学校卒業後にどのような進路を選択するかはとても難しく、大変なことです。しかし、人生最初の大きな関門にしっかりと立ち向かい、乗り越えていく姿勢も大事です。中学校卒業後の進路については、保護者の意向なども踏まえながら、あくまでも子ども本人と保護者とで十分に話し合い、選択・決定していくものです。親としての願いや希望、本人の性格や適性、学力、進路希望などについて、お互いに共有していくことが重要です。

学校（＝担任）は、それぞれがより適切な進路選択ができるようにさまざまな情報提供を行い、支援を進めていくというのが基本姿勢となります。進路選択に向け、御家庭で十分に話し合っていただきたいと思います。

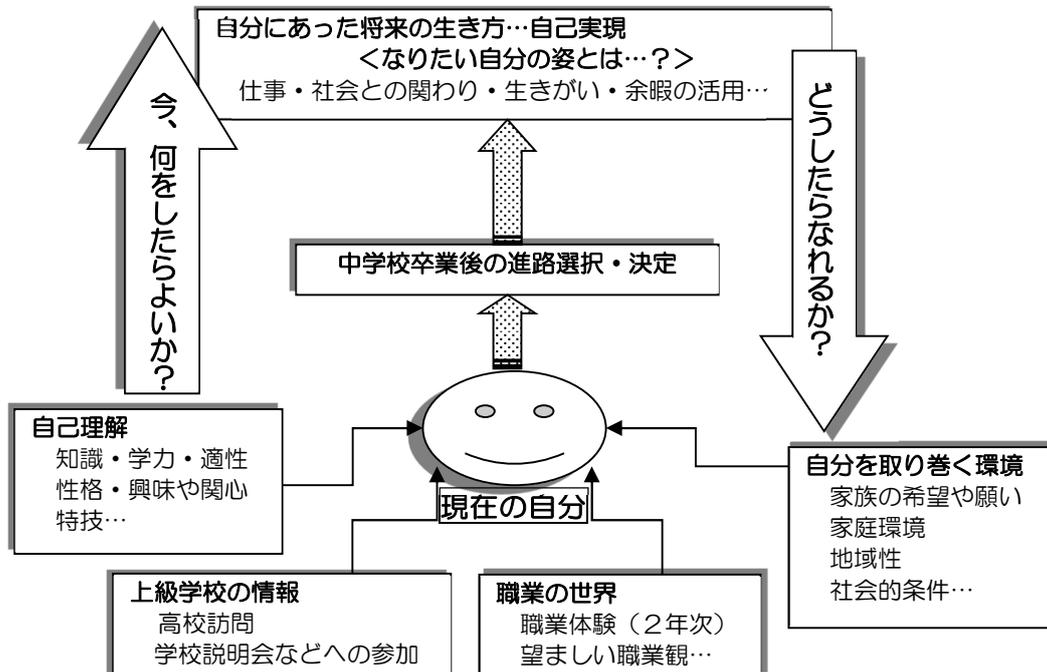
高校中退者の実態

令和3年度に北海道の公立高校を中途退学した人は、前年度よりは減り1051人（高校在籍者の1.2%）になりました。退学の理由は、「進路変更」や「学校生活・学業不適合」が多くなっています。これは、進学に対する目的意識が不十分だったと言わざるを得ない状況です。また、学習の基礎・基本が不十分なことも退学の原因の一つになっているとも考えられます。

そこで、途中退学しないために…



3 進路選択に向け、具体的にはどんな情報が必要なのか……



4 本年度の進路についての年間計画（予定）

今年度1年間の進路の大まかな日程についてお知らせいたします。進路決定の際の目安として参考にしてください。

1 学期

月	主な行事とテスト進路関係の日程	主な内容
4月	・始業式	
	・第1回進路希望調査	・1年間の進路計画や学習計画を考える時期です。 ・御家庭で進路について話し合いをしてから提出してください。
5月	・学年懇談会、学校説明会	・進路についての概要を説明します。
6月	・修学旅行（8～10）	
	・教育相談（17～23）	・この時期から各高校の説明会や見学会等が始まります。 ・個人（御家庭）で申し込みをする高校がほとんどです。 ・進路関係の手続きや石狩学区の学校紹介が掲載されている冊子本です。学活で利用方法について説明します。
	・高校説明会（各高校主催）～10月頃まで ・「進路のしおり」配付	
7月	・第2回進路希望調査 ・期末懇談（9～15） ・3年前期テスト（17） ・終業式（25）	・ <u>期末懇談の資料</u> となるものです。具体的な記入をお願いします。 ・日頃の生活や進路について三者で懇談を行います。

2 学期

月	主な行事とテスト進路関係の日程	主な内容
8月	・始業式（25）	・夏休み中に体験入学や見学会を行う高校があります。
9月	・北海道私学展（例年上旬頃開催） ・学力テスト総合A（10） ・第3回進路希望調査（上旬頃） ・教育相談（随時） ・学校祭（19）	・週末には体験入学や見学会が多く開催されます。 ・私立高校の紹介、相談コーナーが設置されます。 ・進路指導の資料となります。 ・これをもとに随時個人教育相談を行います。
10月	・進路用写真撮影（7） ・学力テスト総合B（8） ・第4回進路希望調査 ・教育相談（随時）	・進路指導の資料となります。 ・入学願書に使用します。 ・これをもとに随時個人教育相談を行います。
11月	・進路説明会（5） ・学力テスト総合C（6）	・入試・出願方法、進路事務等について3年生保護者の方 々を対象に説明を行います。是非ご参加ください。
	・教育相談（13～19） ・第5回進路希望調査（最終） ・推薦希望者の申し込み	・これをもとに12月の期末懇談で進路を決定します。 ・私立高校の推薦を希望する場合は、担任の先生に申し出 ます。詳細は後日お伝えします。
	・推薦受験者（私立）の決定	・校内推薦委員会で推薦の可否について検討し、該当者に 連絡します。（私立）
12月	・期末懇談（10～16） <u>受験校の確認</u> ・3年後期テスト（18） ・願書の下書き練習 ・公立・私立高校の願書配付	・ <u>進路の最終決定を行います。</u>
	・終業式（25）	・Web 出願の高校は冬休み中に準備を進めます。

3 学期

月	主な行事とテスト進路関係の日程	主な内容
1月	・始業式（15）＝ 公立願書提出 ・私立高校願書提出 ・公立、私立高校の願書発送 ・私立推薦・単願入試 ・面接練習 ・公立出願変更受付	・中学校から願書を出します。 <u>提出期限厳守</u> をお願いします。 ・各高校に中学校から願書を出します。 ・2年前の入試から、出願変更は同一の課程であれば、 どの高校からどの高校へでも変更できるようになりま した。
2月	・公立推薦入試（10） ・私立高校一般入試 （A日程…13,14 B日程…17,18） ・公立再出願受付 ・私立受験事前・事後について ・私立高校合格発表	・公立高校の推薦入試が実施されます。 ・A,B日程の二つの私立高校の受験が可能です。 ・自己推薦受検で合格内定とならなかった者が出願しま す。 ・高校ごとに日程は違います。
3月	・私立高校合格発表 ・公立高校一般入試（4,5） ・ <u>入学意思確認書</u> ・公立高校追試験（11） ・卒業式（13） ・公立合格発表（17） ・2次募集受付	・公立私立併願の場合、合格後どちらに入学するか の意思の確認をします。

※ 進路についての様々な提出物については、中学校で取りまとめた後、提出をする関係で「校内締め切り」を早めに設定してあります。全員分が揃わないと多方面に支障をきたすことがあります。締め切りは厳守していただくように、御理解と御協力をよろしく願いいたします。

5 学習点（ランク）の算出方法について

学習点というのは、中学校3年間の各学年末評定をもとに算出されるものです。公立・私立高等学校、高等専門学校への選抜に用いられます。以下はその算出方法です。

【学習点の算出方法】

- ① 各学年の9教科の学年末評定を合計する。
- ② 1、2年は①の合計点を2倍、3年は3倍する
- ③ ②で計算された得点を合計する。
- ④ ③の合計を右の表にあてはめるとランクが算出される。

合計点	ランク	
315～296点	A	オール5 = 315
295～276点	B	
275～256点	C	オール4 = 252点
255～236点	D	
235～216点	E	
215～196点	F	オール3 = 189点
195～176点	G	
175～156点	H	オール2 = 126点
155～136点	I	
135～116点	J	
115～96点	K	オール1 = 63点
95～76点	L	
75～63点	M	

【ランクについて】

- ① 3年間オール5の場合、各学年の9教科合計は5×9=45点となる。
- ② 学習点の算出方法にあてはめると、
45×2+45×2+45×3=315点となる。
- ③ 高点の315点から20点刻みで、A、B、C～というランクになる。

【学習点の算出例】

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	小計	計算
1年	2	3	2	4	3	2	3	3	3	30	×2=60
2年	2	2	2	3	3	3	3	4	5	27	×2=54
3年	3	3	2	2	2	4	2	2	2	22	×3=66

学習点は、60+54+66=180点で、ランクはGということになります。

6 私立高校・私立通信制高校について

全日制の私立高校や私立通信制の高校へ進学するケースが年々増加傾向にあります。これは高校ごとに設定された特待制度や施設設備が充実していること、資格が取れるなどの理由から選ばれていると考えられます。これは、2020年度から私立高校の就学支援金が拡大されたことで、世帯収入によっては私立高校に対する経済的なハードルが下がり、私立高校を第1志望とする受験生が増加傾向にあったためです。また、私立と公立を併願する受験生にとってはより上位の公立高校にチャレンジしやすい状況になったことも影響していると考えられます。*

さらに、私立通信制高校は、コロナ禍でのオンライン形式の学びが普及したことも後押しとなり2023年度の生徒数は全国で約26万5千人と8年連続で過去最多を更新しています。北海道の生徒数も同年は約2万4千人と都道府県別で全国2番目に多い結果となっています。これは、通信制ならではの教育システムに魅力を感じて進学を希望するケースが増えており、多様性を尊重する昨今、自分に合った学習方法や教育内容を自ら選択する傾向にあると考えられます。

一方で、学費に関しては、単位制という仕組みをとる通信制は1単位当たりの授業料で計算されるため一律ではありません。通学スタイルやコースによってさまざまであり、初年度で約25万円から美容師などの資格取得や手厚い支援があると100万円を超えることもあります。とはいえ、高卒を目指す基本コースなら全日制とそれほど費用は変わらないケースもあり、就学支援金や奨学金も申請することができるようです。

※出典：「道新受験情報」

中学校の生活について

各学年で年度初めに以下の点について学活でお話しております。

- ① 「校舎内での過ごし方」「校内生活の基本パターン」
- ② 「札幌市立伏見中学校・生活のきまり」
- ③ 「集会時の整列について」「令和7年度校外生活について」
- ④ 「香りのエチケット」(生徒用)
及び「化学物質過敏症の予防と香りのエチケット」(保護者用)

①については、校舎内での生活の流れを説明しています。主な点は以下でもふれる「時間の意識」について確認しています。

②については、一昨年度改訂した校則についての確認をしました。

この校則改訂に関しては、学級、生活委員会といった生徒たちの活動を中心にどういった校則にすべきかを検討し、それを保護者の代表の方や保護者アンケートの声を生かして改訂されました。

③「令和7年度校外生活について」は、長期休みの前にも生徒向け、保護者向けのプリントが配付されます。

④については、昨今、芳香付きの柔軟剤や制汗剤等が増えてきている一方で、そういった匂いで体調不良になる人(化学物質過敏症等の症例)も増えてきています。そこで、学校ではそういった体調不良が起こらないよう、学校で使用する物品にも気を遣って対応していますので、生徒の皆さんにも注意してほしいと思いますといった内容でした。保護者の方々の御協力もよろしくお願いいたします。

生活面での小学校と中学校の大きな違いを考えると、それは「時間の意識」だと思います。

- ・登校時間
- ・授業の開始時間
- ・給食の開始時間 等々

それぞれの時間の「3分前」を目安に完了する確認しております。

「3分前」については、

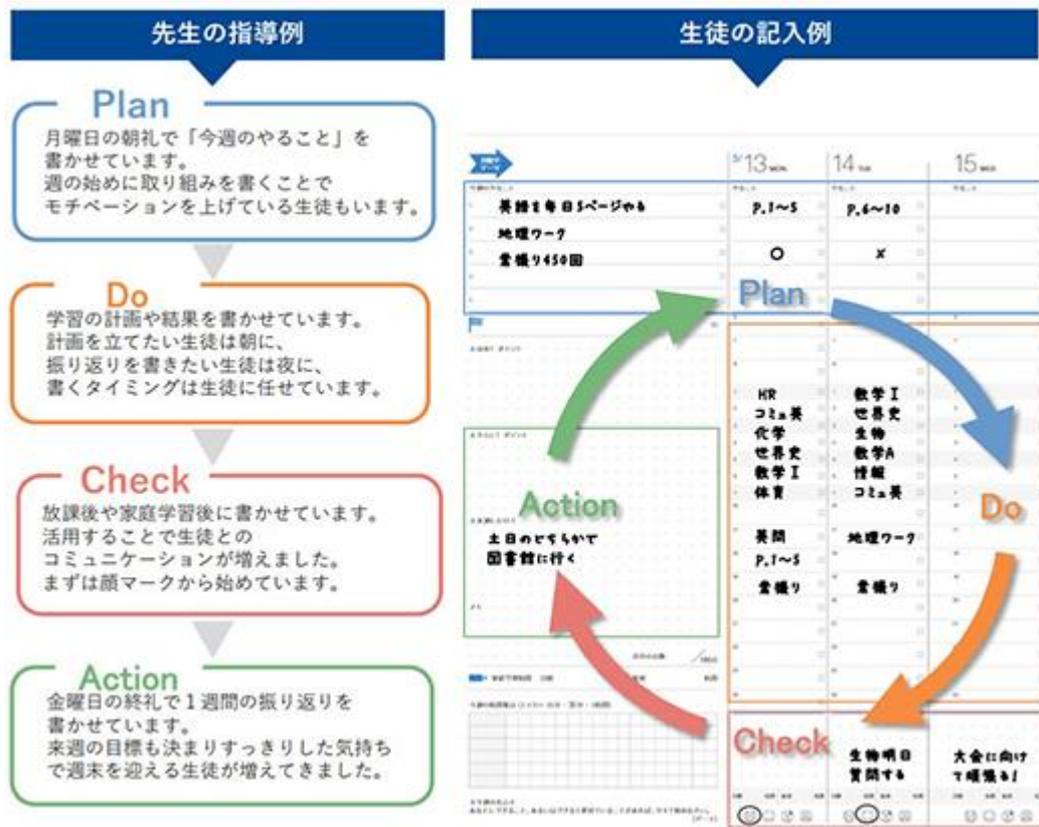
- ・「朝読書」の時間へのスムーズな開始のため
- ・授業準備のため(心の面も授業道具の面でも)
- ・給食の時間の確保のため

といったことがあげられます。特に、授業については、教科書等の授業準備と共に「心の準備」も含めて指導しております。

この「時間の意識」は、部活動や塾、習い事、家庭学習に加え、自分なりの趣味の時間や睡眠時間といった様々なスケジュールで忙しい中学校生活を乗り切るための大事なスキルです。時間の意識が育っていないと、やるべきことから目をそらし、自身が今、したいことだけに没頭するようになります。昨今は、小学校時代から習い事や塾に通う子も増えておりますので、「時間の意識」ができている生徒もいるかとは思いますが、深夜までゲームやSNS、動画サイトの視聴等で家庭学習の時間や睡眠時間が削られている生徒も多く見かけます。規則正しい生活の確立と時間の使い方を上手になれるよう家庭でも、お話しをしていただければ幸いです。

また、「時間の意識」の育成のために、本校では「Foresight(フォーサイト)」という手帳を採用しております。各自が自分の時間を「見通し」をもって有効に活用できるよう、普段の生活の中でPDCAサイ

クルの意識を育てることを目指しております。御家庭でも是非ご覧になり、お子様にアドバイスをいただければと思います。



(フォーサイト HP より)

■「いじめ」の対応に関して

札幌市の中学校ではSNSを原因とした生徒同士のトラブルが頻発しております。

- ・グループLINEやInstagramなどで個人を嘲笑、攻撃する書き込み、投稿を行う。
- ・「サブ垢」を使った第三者の画像や動画の投稿。 等

これら以外にも、個人を特定できないような書き込みや物品の悪戯といった巧妙な事例も見受けられています。一方で、事実関係が明らかにならないいじめの訴えもあり、見極めが難しくなっている要因もあります。ただ、基本的には「いじめ」を訴える生徒がいる場合は、いじめ防止対策推進法に基づきいじめがあったとおさえて、生徒達に事情を聞き、対応を進めていくことになります。

昨今のエスカレートするいじめの現状を受けて、本校では今年の3月22日に「いじめ防止基本方針」を改訂いたしました。改訂内容としてはスローガンとして、いじめは「しない・させない・許さない」を掲げ、学校として組織的な対応を行うこと、校内いじめ防止対策委員会を定期的に開催すること。いじめを認知した場合の具体的な対処についてより具体的に示したこと、重大事態への対処等について記載しています。

※対応の詳細に関しては、HPに掲載しております、本校の「いじめ防止基本方針」をご覧ください。

- 学校は、被害・加害の双方の保護者に、いじめの事実や本校での支援・指導などについて、丁寧に説明します。
- 特に、SNSやオンラインゲーム等のインターネット上でのいじめについては、スマートフォン等の契約者である保護者の協力が不可欠です。あらかじめ親子で約束事を決めて使用させたり必要に応じて使い方を確認したりする使い方について意識が高まるようご指導ください。御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

全教科 2 期制への変更について

本校では、子どもたちの「確かな学力」の育みを目指し、令和6年度の4月から何度も全教職員で会議を重ねてきました。その結果、令和7年度から以下の2点について変更を行うことと致しました。

- ・ 5教科の評定時期を3期制から2期制に変更すること
- ・ 実技教科における定期テストを実施しないこと



定期テストは、前期と後期にそれぞれ1回ずつ（計年2回）5教科のみ実施する

【5教科を3期制から2期制に変更する理由】

令和3年度からスタートした学習指導要領では、**内容(単元)のまとまりごとに評価を行うこと**が求められており、これまで以上に各教科において小テストや単元テストを行うようになっていきます。そのため、定期テストの前後の週にも単元テストなどを行う場合も少なくありません。

全教科2期制にすることで、**生徒が「見通し」をもって計画的に学習に取り組みやすくなる**と考えています。定期的テストの回数が少なくなるため、**定期テスト対策に追われることなく、長期的な視野で学習に取り組むことができ、「主体的に学ぶ力」「持続的な学習意欲」を育む**ことにもつながると考えられます。また、3年生においては、学力テスト(9~11月)の時期に定期テストがないため、進路を見据えた、自主的な学習にも力を入れることができます。

更には、評定の期間が長くなることによって、先生方にとっても、一人一人の学習状況をより詳しく把握しやすく、指導方法を柔軟に工夫することが可能になり、より効果的な学びを提供できます。そうすることで、生徒一人一人の理解度の向上にもつながることが期待されます。

1 具体的に変わる内容

(1) 全教科の評価・評定が前期・後期制

【これまで(令和6年度まで)】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	前期						後期					
学期	1学期			2学期			3学期					
5教科	1学期評定			2学期評定			3学期評定					
実技教科 (4教科)	前期評定						後期評定					



学年末
評定



※5教科は1学期、2学期、3学期の3回の評定を総合して学年末の評定を算出し、4教科は、前期と後期の2回の評定を総合して学年末の評定を算出していました。

【令和7年度から】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	前期						後期					
学期	1学期			2学期			3学期					
全教科	前期評定						後期評定					



学年末
評定

※全教科、前期と後期の2回の評定を総合して学年末の評定を算出します。

(2) 定期テストの回数、実施教科

- ・これまで実施していた「技術・家庭」「保健体育」の定期テストがなくなります。※P3参照
- ・定期テストは5教科のみで、前期に1回、後期に1回の年2回になります。
- ・実施時期は3年生と1・2年生で異なります。※3年生は、学力テストや入試があるため

	前期	後期
1・2年生	8月下旬（2学期始業式の翌日）	2月中旬（3年生私立入試の日）
3年生	7月中旬（1学期期末懇談後）	12月中旬（2学期期末懇談後）

※ 3年生は9月、10月、11月に学力テストがあります。

※ 1・2年生の後期定期テストは、3年生の私立高校入試の日に実施します。

(3) 通知表の配付時期

- ・これまでは、1学期、前期、2学期、学年末の4回、通知表を配付し、評価・評定をお知らせしていましたが、全教科2期制となることに伴って、通知表の配付を前期（10月中旬の予定）と学年末の年2回とします。

※ これまで通り、期末懇談（三者懇談）は7月と12月に実施予定です。生活面も含めた学校でのお子様の様子は、面談を通してお伝えいたします。

※ **私立の高等学校を推薦や単願で受験する(出願が1月前半までのもの)際に用いられる3年生の成績は、前期のものになります。(公立高校は自己推薦も含めてすべて学年末の成績になります。)**

- ・学年末の通知表に、1年間を通しての評価・評定が記載されます。入試の際に用いられる成績は、学年末の通知表に記載されているものということになります。つまり、前期の成績は、1年間を通して見たとき、9月までの途中段階での成績ということになります。

※ 令和6年度まで学年末の通知表に記載していた担任による所見を、今年度より記載しないことと致します。お子様の取組や成長の様子については、期末懇談（三者懇談）や学級・学年懇談会などを通して、適宜、保護者の皆様にお伝えいたします。

2 1年間の主な行事

1 学 期	4月	・始業式 ・入学式 ・新入生歓迎会 ・前期学級委員認証式	前 期
	5月	・体位測定 ・授業公開 ・学級/学年保護者懇談会	
		・学校説明会 ・生徒総会 ・2年宿泊学習	
	6月	・教育相談 ・1年校外学習	
7月	・学校公開日 ・3年修学旅行 ・陸上競技記録会		
2 学 期	7月	・期末懇談 ・前期テスト(3年) ・終業式	
	8月	・始業式 ・前期テスト(1・2年)	
	9月	・3年学力テストA	・学校祭 ・生徒会役員選挙立会演説会
		・3年学力テストB	・後期学級委員認証式 ・通知表配付(前期)
	10月	・合唱発表会(体育館)	
11月	・3年学力テストC	・授業公開 ・学年保護者懇談会	後 期
12月	・小中音楽交流会		
12月	・期末懇談 ・体育大会(1・2年) ・後期テスト(3年) ・終業式		
3 学 期	1月	・始業式	
	2月	・後期テスト(1・2年) ・教育相談	
	3月	・3年生を送る会 ・授業公開 ・学年保護者懇談会	
		・卒業式 ・修了式 ・通知表配付(学年末)	

3 変更に関わる Q&A

今回の変更に伴って、不安な点やわからない点多々あると思います。生徒や保護者の皆様の視点から考えられるQ & Aを作成いたしました。

Q 受験に影響はありますか？

A 大きな影響はないと考えます。評定の回数が2回になり、定期テストの回数も減りますが、基本的な評価・評定の方法（別添資料1）が変わるわけではありません。内容のまとまりごとの評価（日々の授業の中で行う単元テストや小テスト、課題やレポート、作品などの成果物から行う評価）と定期テストをもとに評定を算出します。定期テストの回数が減る分、これまで以上に日々の授業の取り組みを大切にしていく必要はあります。

ただし、出願の時期が早い（出願が1月前半まで）形での受験（私立高校の推薦や単願）を考えている場合は注意が必要です。そうした場合、3年生の成績は10月にお知らせする前期の成績が入試選抜の資料として用いられることになります。

また、これはこれまでと変わらない部分ではありますが、学年末の成績は1年間を通しての成績となりますので、年度の後半だけ頑張れば良い成績が付くというものではありません。1年間を通して、バランスよく取り組んでいくことが大切です。

Q 定期テストの回数が減る分、テスト範囲が広がるのではないか。

A 5教科の定期テストの範囲は、確実に広がります。しかし、各教科で過度な負担にならないように配慮あるテスト範囲と問題にしたいと考えています。また、定期テストはあくまでも評価資料の一つです。各教科が日常的に行っている単元テストや小テストなどと組み合わせて、学習した内容をまんべんなく評価できるように各教科で工夫していきます。

また、3年生にとっては、入試を意識してある程度広い範囲にも対応できる力が必要になります。日常の取り組みも大切にしながら、知識をしっかりと定着させ、広範囲にわたる学習内容のテストだとしても対応できる力をつけていくことを目指しましょう。

Q 技術・家庭や保健体育の定期テストがなくなったら成績はどのようにつきますか？

A 定期テストのようなペーパーテストで評価できるのは、あくまでも言葉としての「知識」や「思考力」です。現在の学習指導要領で求められている「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」とは言葉で書き表したものだけを見て評価できるものではありません。学習指導要領では教科ごとに詳しく示されていますが、特に実技教科では、「知識」や「技能」を身に付け、それを実際に使うことが出来るかどうかということに重きがおかれています。評価においても、テストのような書いたものだけで評価するのではなく、実際のプレーや演奏、制作物などをもとに評価することになります。実技教科であっても内容や分野によっては一部小テストなどを行う場合もありますが、評価資料の大部分は、ペーパーテスト以外のものになります。そのため、定期テストを行っていた実技教科においても定期テストの結果が全体の評価の中で占める割合はあまり大きくありませんでした。つまり、定期テストを行わなかったとしても、実技教科の評価は大きく変わることはありません。

Q 今まで定期テストが年3回あったため、それに向けて各学期に集中して勉強する時期がありました。定期テストが減るので勉強量も減るのではないのでしょうか？

A 定期テストに向けての学習は、実施回数が減った分、少なくなるかもしれません。これまで学校でも、定期テストに向けて学習計画を立てるなど、「定期テストがあるから勉強しなさい」というような形で、生徒に学習を促していた部分もあります。しかし、学習とは本来テストの点数が取れるようになることだけが目的ではありません。新しい知識を身に付け、その身に付けた知識を活用しながら、自ら課題を見だし、その課題を解決していく力を身に付けていくことが大切であるとされています。

そのためには、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことが何より大切です。そして、定期テストの時期だけ学習時間が増えるのではなく、年間を通じて、バランスよく学習に取り組めるようにしていくことが大切です。全国学力学習状況調査の分析から、本校生徒の学習時間(学校外)は、全国平均を大きく上回っていることが分かります。学習習慣が身に付いている生徒が多いからこそ、定期テストの回数が減ったとしても大丈夫であると判断の変更でもあります。引き続き、各教科が日常的に授業の中で行っている単元テストや小テストに向けての取り組み(家庭学習等)を意識できるように働きかけるとともに、生徒一人一人が計画的に学習できるようにフォーサイト手帳なども活用しながら、学校でも支援していきます。

Q 期末懇談(三者懇談)の日程はどうなりますか。

A これまでと同様に1学期(7月)と2学期(12月)に実施予定です。これまで同様に、学校からは、「学習面」と「生活面」の両側面からのお話をいたします。ただし、1学期の期末懇談では、まだ評定は出ていませんので、成績についての具体的なお話をすることは難しいです。

1学期の期末懇談では、新しい学級や旅行的行事などでの様子をお伝えします。また、「学習面」においては、各教科の小テストや課題等への取組の様子などをお話するとともに、今後に向けてのアドバイスなどを学校からする予定です。保護者の皆様から、御家庭での学習や生活の様子を教えていただくと今後の支援に生かすことができます。また、3年生においては、進路に関わる話もすることになります。

評価・評定の基本的な考え方

中学校ではすべての教科において、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点についてそれぞれ評価を行います。これを「観点別学習状況の評価」といい、A～Cの3段階で表されます。通知表に示される5～1は評定と呼ばれるもので、3つの観点別学習状況の評価を総合したものです。

① 観点別学習状況の評価

学習する内容毎に、3つの観点をそれぞれ評価します。各学期（前期と後期）の終わりには、内容のまとめりごとの評価をまとめ、A～Cの3段階で示したものを通知表でお知らせします。

☆【3つの観点】の主な内容

知識・技能

・基本的な知識及び技能を身に付けているか。また、それを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりして、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか。

思考・判断・表現

・各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか。

主体的に学習に取り組む態度

・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、粘り強く学ぼうとしているか。

【評価の目安】

各教科で定めた目標に対して
十分満足できる・・・A
おおむね満足できる・・・B
努力を要する・・・C
※本来、評価とは自分の学習の成果を的確に捉え、自らの学習を振り返って次の学習に生かすためのものです。

※ それぞれの観点について何を使って、どのように評価するかは、各教科の授業の中で説明されます。

② 評定

3つの観点別学習状況の評価を総合して5～1の5段階で示したもので、各学期の終わりに通知表でお知らせします。

【評定の目安】

各教科で定めた目標に対して
十分満足できるもののうち
特に程度が高い・・・5
十分満足できる・・・4
おおむね満足できる・・・3
努力を要する・・・2
一層努力を要する・・・1

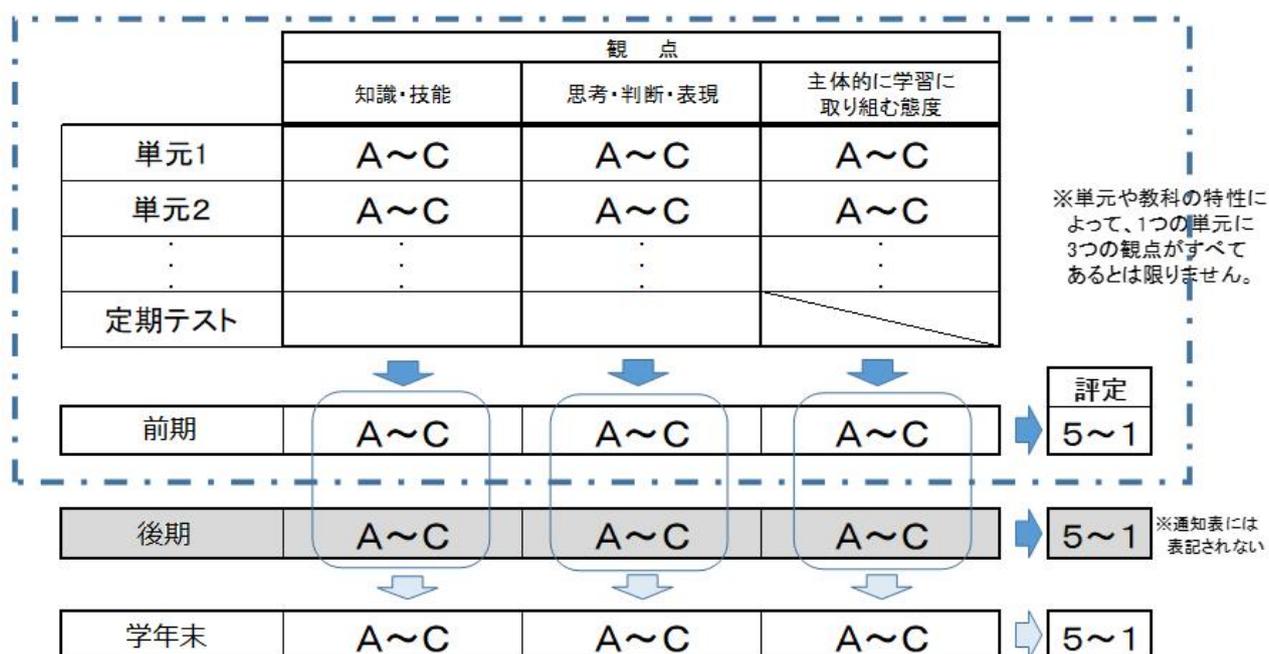
③ 学年末の評価と評定

学年末に通知表で示される評価・評定は、1年間を通してのものになります。

資料1：評価・評定の目安

観点別学習状況の評価		評定		数値化したときの目安
十分満足できる	A	5	十分満足できるもののうち特に程度が高い	85%以上
		4	十分満足できる	70%以上
おおむね満足できる	B	3	おおむね満足できる	40%以上 40%未満
努力を要する	C	2	努力を要する	15%未満
		1	いっそうの努力を要する	

資料2：1年間の評価・評定イメージ



図から見てわかるように、評定（成績）は、定期テストだけでつくわけではありません。単元ごとに行う小テストやレポート、日常の取り組みの積み重ねが大切になってきます。わからないことや心配なことがあれば、各教科の先生に質問してください。

札幌市立伏見中学校ホームページ

<https://www.fushimi-j.sapporo-c.ed.jp/>

